



文協たかしま

【編集発行】

高島市文化協会

高島市安曇川町田中8-9

TEL 090-7874-8640

FAX 0740-32-4011

【題字】

大西 巖 顧問

木津川市文化協会 視察に見える



文化活動の活性化と会員の交流を図るために「会員研修」として高島市文化協会を研修先として7月14日(水)会長以下27名の方がお越しになりました。

木津町、山城町、加茂町の3町が合併して木津川市となり、既存の木津町文化協会と山城町文化協会が2008年に合併して新たな木津川市文化協会を設立されました。現在人口は74744人。このまちで文化、芸術を愛する活動をキャッチフレーズに活動されています。会長の歓迎の挨拶の後次の項目について説明をいたしました。

協会の組織・役員体制について

平成17年1月に高島市が合併し、文化協会も(マキノ・今津・杵木・安曇川・高島・新旭)各文化協会が統合されました。平成24年度までは、6支部にそれぞれ事務局員と本部の事務局員の合計7名で運営してきました。24年度の評議員会で事務局費が全体の予算の中で占める割合が多く、事業が出来ていないのではない

か?との指摘に対して事務局員のあり方を理事会で協議した結果平成25年度から事務局が統合されました。

平成25年度から部門制を採用入れ、交流を深めることにより新たな文化活動ができるなど、組織力を発揮してより充実した事業活動を展開できるようにした。活動の母体は高島市文化協会一つであるとの考えのもと、その目的達成に向けた事業が行われるようになったことを説明しました。



▲木津川市文化協会 生田会長様

10周年記念事業

木津川市も来年市制10周年を迎えられます。2年前に実施した「高島市制10周年記念事業未来につなぐ鐘がなる、高島文化活動祭」と、26年度から取り組んでいます。初心者教室について説明をし、その後意見交換を行いました。木津川市文化協会が行われている小さな発表会は、8年目を迎え異なる分野の4サークル以上が「コラボレーション」して、一つの発表会を開催されているもので、目的とするところは発表の機会が増えることです。その上、他分野とのコラボです。その上で、固定した従来の観客層と異なり新しい客層も多く、観客数の増加になり出演者の励みにもなります。また、新規の観客には各サークルの魅力や活動内容がアピールできるチャンスでもあり、新規会員の勧誘の機会でもあります。そして、サークル相互が情報を発信して理解が深まることにより、文化協会の一体感が生まれました。

「いろいろな波及効果が期待される小さな発表会を、今年度

も続けたいと思っています。」このことを聞き、今後参考になる部分が多くあり有意義な時間を持つことが出来ました。

木津川市文化協会

会長 生田 幸広

先日非公認多用途の中、当協会の会員研修交流会に高島市文化協会大石会長様に丁寧なお迎えをいただき、誠にありがとうございました。

この研修交流会で高島市と木津川市の繋がりが、より深まっていく一つのステップになったのではないかと考えております。これを契機にさらに幅広い交流を期待するところです。



▲木津川市文化協会のみなさん